



# パーフェクトサーフ®

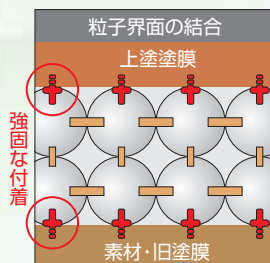


## 特長

- 1 窯業系サイディングボードの塗り替えに最適な下塗材です。
- 2 下地の隠ぺいにすぐれているので、淡い色から濃い色への変更はもちろん、濃い色から淡い色への塗り替えにも最適です。(抜群のカブリ)
- 3 きめが細かいので、上塗りの吸い込みが少なく、仕上がり感にすぐれ、美しく仕上がります。
- 4 防藻・防かび性を有しています。
- 5 微弾性機能を有しているので、ヘヤクラックへの追従性があります。

## 新技術

今までにない特許技術で  
より強固な付着性能を実現。  
(特許取得済 特許第3910069号)



- ①特殊モノマーを適用することにより、旧塗膜と化学的に結合することによる密着性(付着性)を確保。
- ②特殊架橋剤を併用(反応硬化)することによる、強靱な塗膜の生成および耐久性(密着・耐水)を確保。

**標準塗装仕様 (塗り替え)** 仕上げは下記《適用上塗り塗料》からご選択ください。

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	活膜を残し劣化塗膜は入念に除去する。ほこり、汚れを除去、清掃する。						
下塗り	ニッペ パーフェクトサーフ	1	0.20~0.40	3時間以上	水道水	2~5	はけ ウールローラー

- ※上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- ※上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。
- ※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。
- ※塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります。)
- ※吹付け施工の場合は、飛散防止のため養生を行ってください。
- ※塗り重ね乾燥時間は、上塗りを塗付する時間となります。

《適用上塗り塗料》	《適用下地》 (塗り替え改修用)
<ul style="list-style-type: none"> <li>●パーフェクトトップ</li> <li>●ハナコレクションシリーズ</li> <li>●ファイン4Fセラミック</li> <li>●ファインシリコンフレッシュ</li> <li>●ファインSi</li> <li>●1液ファインシリコンセラUV</li> <li>●水性シリコンセラUV</li> <li>●DANシリコンセラ など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●窯業系サイディングボード</li> <li>●ALCパネル面</li> <li>●コンクリート面</li> <li>●モルタル面</li> </ul> <p>各種旧塗膜の上</p>

※新設時は下塗りにニッペ水性カチオンシーラーまたは、ニッペ浸透性シーラー(新)をご使用ください。

ペイントかわら版

読者募集!

登録無料

いますぐご登録を。

※QRコードが読み取れない場合は、こちらにアクセスしてください。  
<http://paintkavaraban.jp/form/>



# ニッペ パーフェクトサーフ

## 塗料性状・荷姿

塗料名	色相	つや	容量	希釈剤	希釈率	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装方法
ニッペ パーフェクトサーフ	白	—	15kg	水道水	2~5%	0.20~0.40	はけ・ウールローラー

- ・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- ・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

## 乾燥時間

	5~10℃	23℃	30℃
指触乾燥	1時間	30分	10分
塗り重ね乾燥	16時間以上	3時間以上	3時間以上

※乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

## 施工上の注意事項(詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。)

- 1 光触媒のサイディングボードには対応しておりません。光触媒処理を施した素材には、塗膜劣化が早まるなど不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
- 2 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- 3 本品は規定の塗り重ね乾燥時間よりも早く上塗りを塗装しますと、縮み、割れ、乾燥不良を起こしますので、塗り重ね乾燥時間をまもってください。また、吸い込みの大きい下地や素材の場合は、塗り重ね乾燥時間は長めにとってください。短時間で上塗りを塗装しますと、溶剤による膨れや縮みなどが発生するおそれがありますので避けてください。
- 4 JIS A6021の下塗りとしての適性はありません。
- 5 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなうおそれがあります。
- 6 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 7 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
- 8 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科学社製Hi500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- 9 表面のこみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目遣い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- 10 ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペセメントフィラー、ニッペフィラー200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)
- 11 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- 12 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 13 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 14 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 15 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 16 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 17 シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、可塑性移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 18 プレハブ住宅の場合、定形シーリング(ガスケット部)に塗装すると、可塑性の移行により汚染が発生しますので塗装しないでください。
- 19 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 20 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- 21 可塑性が多く含まれる塩ビ鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 22 表面に特殊セラミック処理・特殊ガラスコート処理、フッ素コート処理、はっ水処理、光触媒処理などの特殊な処理を施した素材には、塗料が付着しない場合や、塗膜に不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
- 23 平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
- 24 塗料は内容物が均一になるようによくかき混ぜてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、よくかき混ぜて用いて底の沈降物を十分にかき混ぜてご使用ください。
- 25 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 26 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 27 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

## 安全衛生上の注意事項


### ニッペ パーフェクトサーフ

### 横倒禁止

- ・本来の用途以外に使用しないでください。
- ・使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
- ・取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- ・必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- ・飲み込んだ場合: 気分が悪いときは、医師に連絡してください。口をすすいでください。
- ・粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
- ・暴露したとき、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- ・容器からこぼれたときには、砂などを散布した後処理してください。
- ・施錠して子供の手の届かないところに保管してください。
- ・直射日光や水濡れは厳禁です。

- ・塗料などの缶の積み重ねは3段までとしてください。
- ・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合40℃以上)の温度に暴露しないでください。
- ・内容物/容器を廃棄するときには、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- ・容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

■ 詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。  
■ 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険		危険有害性情報	飲み込むと有害のおそれ/発がんのおそれの疑い 生殖能力または胎児への悪影響のおそれ
----	---	---------	--

## 日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎03-3740-1120

☎06-6455-9113

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

●このカタログは再生紙を使用しています。

- 本カタログの内容については、予告なしに変更することがありますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2015 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.

■ 詳細情報はホームページで

日本ペイント 建物 検索

<http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html>

カタログNo.

NR-S171

KE150205T  
2015年2月現在